

# 1

## ようこそ日本下水道事業団へ

日本下水道事業団（JS）は  
地方公共団体の代行・支援機関として  
下水道事業をライフサイクルにわたってサポートします

- 日本下水道事業団は、地方公共団体の出資により設立された「地方共同法人」です。下水道技術者をプールし、地方公共団体からの委託を受けて、下水道事業を行っています。
- 日本下水道事業団は、地方共同法人として、下水道事業のさまざまな課題の解決策を、単に技術支援にとどまらず政策形成段階から、地方公共団体の皆様にご提案します。
- 突発的な災害対応にも、全国に展開する組織力を活かして力強くサポートします。
- さらに各種研修、技術認定や、新技術の開発・導入などを通じて下水道界全体の発展に貢献します。
- 今後は、今春策定した第5次中期経営計画に基づき、「下水道ソリューションパートナーとしての総合支援」、「下水道ナショナルセンターとしての機能発揮」の2本柱で事業を推進します。

### JSの職員数

事務職 約180人  
技術職 約500人  
(平成29年4月現在)

土木、建築、機械、電気、  
水質といった技術分野  
に加えて経営支援分野  
の専門スタッフ等により  
地方公共団体を支援

### JSの実績

- ・約1,400箇所の処理場を新築・再構築（日本の下水処理場の約7割）
- ・ポンプ場約800箇所  
（内雨水ポンプ場約300箇所）
- ・管渠約240箇所
- ・約100の技術基準類を整備
- ・特許、実用新案等約120件取得
- ・研修実績のべ約72,000人